

# 「情報共有システム(ASP方式)」及び「建設工事における遠隔臨場」の試行について

## <建設現場の生産性向上を目指して>

神奈川県企業庁では、建設現場の生産性向上に向けた新たな取り組みとして、「情報共有システム(ASP方式)」及び「建設工事における遠隔臨場」を令和5年7月以降、試行します。

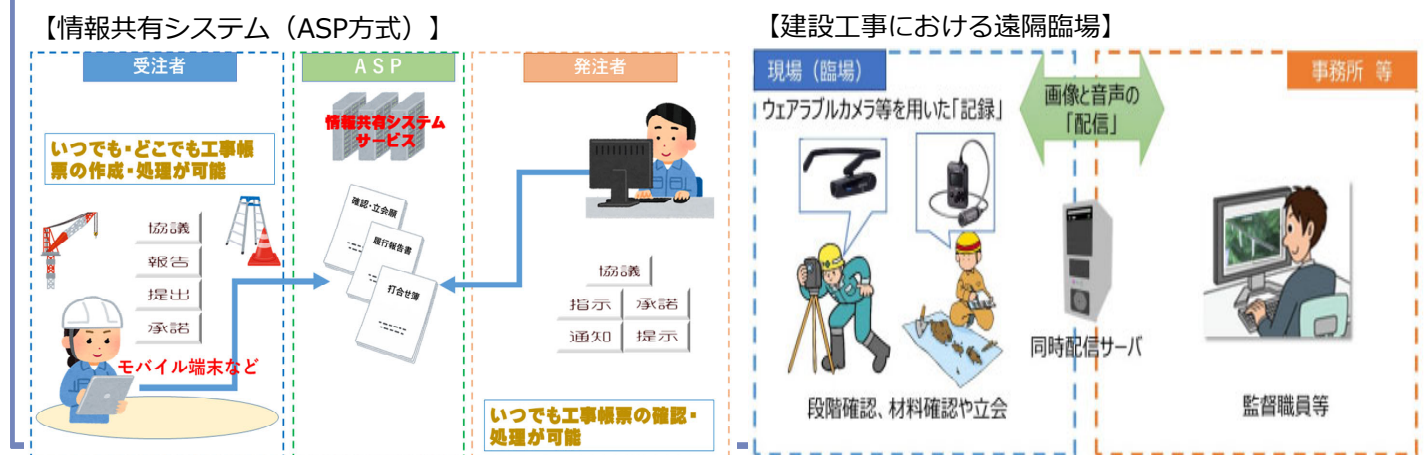
### ◆情報共有システム（ASP方式）

従来、書面により受発注者間で処理していた「工事打合簿」「履行報告書」「材料検査(確認)願」「確認・立会願」等の書類について、ASP（アプリケーション・サービス・プラットフォーム）が提供するオンラインサービスを利用して、「指示」「協議」「報告」等の行為を行うものです。

### ◆建設工事における遠隔臨場

従来、現場で立会っていた段階確認などの監督・検査業務を、受注者が動画撮影用カメラ（ウェアラブルカメラ等）により撮影した現場の映像と音声にて、Web会議システム（Zoom等）を利用して遠隔で行うものです。

【イメージ図】



- 今回の遠隔臨場の試行は「段階確認」や「材料検査」、「立会い」などを対象とします。
- 令和5年度の試行では、情報共有システム(ASP方式)及び遠隔臨場について、それぞれ受注者からの要望があり、受発注者協議が整った工事について、費用の全額を受注者が負担して行います。(受注者希望型)